

平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
2-2-3 子どもが個性・能力にあった教育を受けている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの生きる力を育む
	めざす成果	子どもが個性・能力にあった教育を受けている
		子どもの個性や能力に応じた教育の場が用意され、障がいの有無や国籍の違いなどに関わらず、子どもたちが生き生きと活動しています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）				
めざす成果	施策の展開	取り組み内容	事業名	担当課
2-2-3 ① 子どもが個性・能力にあった教育を受けている	2-2-3-1 児童生徒が学習内容を確実に理解できる環境を整備する	児童生徒が、適切な教育を受けられるようにする	児童生徒学習管理事務 通学区域設定・変更事務 小学校少人数指導等非常勤講師配置事業 中学校少人数指導等非常勤講師配置事業 中学校移動水泳授業実施事業 修学旅行等への看護師派遣事業 小学校教科書等整備事業 小学校教材等整備事業 中学校教科書等整備事業 中学校教材等整備事業 指導図書等整備事業	学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 指導室 指導室 指導室 指導室 指導室 指導室
			英語教育推進事業 教育ネットワーク運用管理事業 教育用コンピュータ整備事業 情報教育推進事業 理科・環境教育に関する調査研究・研修事業 理科センター運営事業	指導室 教育研究所 教育研究所 教育研究所 教育研究所 教育研究所
		学校施設、設備を良好かつ快適な状態に保つ	小学校学校備品整備事業 小学校管理事務(学校配当) 中学校学校備品整備事業 中学校管理事務(学校配当) 小学校庁務作業業務 営繕作業所管理運営事務 小学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業	教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課
			小学校大規模改修事業 中学校大規模改修事業 小学校防音設備整備事業 中学校防音設備整備事業 文ヶ岡小学校増築事業	教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課 教育総務課
		小中学校の運営に必要な物品などを確保する	児童教育活動事業(学校配当) 生徒教育活動事業(学校配当) 小学校管理用物品購入配布事務 中学校管理用物品購入配布事務	教育総務課 教育総務課 学校教育課 学校教育課
		学校施設の衛生状態を良好に保つ	学校薬剤師検査室運営事業 小学校環境検査事務 中学校環境検査事務	保健給食課 保健給食課 保健給食課
	2-2-3-2 児童生徒が安全で快適に学べる学校環境を整える	学校管理下で傷病等を患った場合の医療費を軽減する	学校災害補償事業	保健給食課
		学校教育に関する取り組みを統一的な方針のもと確実に進捗する	教育委員会運営事務 校長・教頭会支援事業	教育総務課 学校教育課
			教職員人事事務 教職員互助会支援事業 教職員公務災害補償事務 小学校非常勤講師派遣事務 中学校非常勤講師派遣事務 学級編成事務 学校医等公務災害補償事務 教職員健康診断事務	学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 保健給食課 保健給食課
		教育関係者などが、事業概要について網羅的に理解できるようにする	大和の教育刊行事業	教育総務課
	2-2-3-3 学校教育を円滑かつ効果的に展開する	② 就学時などにスムーズに学校生活を送れるようにする	特別支援教育研究事業 就学相談事業 ことばの教室運営事業 特別支援教育推進事業 小学校特別支援教育教材備品等整備事業 中学校特別支援教育教材備品等整備事業 外国人児童生徒教育推進事業 障害者処遇委員会運営事業	指導室 指導室 指導室 指導室 指導室 指導室 指導室 障がい福祉課
			発達相談支援システム推進事業 児童発達支援事業 児童ホームヘルプ事業 児童短期入所事業 児童移動支援事業 松風園運営事業(再掲)	すくすく子育て課 すくすく子育て課 すくすく子育て課 すくすく子育て課 すくすく子育て課 障がい福祉課
	2-2-3-4 子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援を行う	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、安心した日常生活を送れるようにする	私立幼稚園運営支援事業	ほいく課
	2-2-3-5 私立幼稚園が適切な教育を行えるよう支援する	私立幼稚園の教育環境を良好な状態に保つ		

成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 子どもの個性や能力にあった教育が行われていると思う市民の割合	27.8%	40.0%	36.5%		35.0%	40.0%
	② 特別支援教育ヘルパー充足率	79.0%	100.0%	93.3%	93.8%	100.0%	100.0%

所 管 部	教育部、こども部
-------	----------

平成26年度の 取り組み内容	【児童生徒が学習内容を確実に理解できる環境を整備する】 ・小学校3校において小学3～4年生の外国語活動を年5時間から15時間に拡大しました。また、英語学習スーパーバイザーを新設し、各校の外国語活動の充実を図るための指導助言を行いました。 ・教室用タブレット型P Cを全小中学校に整備するとともに、機器の活用促進を図るためのI C T支援員を配置することで、電子黒板等も含め、I C T機器の効果的な授業活用ができる環境整備を進めました。また、特別支援学級用タブレット型P Cを全小中学校に整備し、児童生徒の障がいや特性に合った教材の提供や環境整備を行いました。 【児童生徒が安全で快適に学べる学校環境を整える】 ・児童生徒の教育環境の向上を図るため、老朽化した施設の整備・改善を行ったほか、つきみ野中学校の防音機能復旧工事及び校庭整備工事を実施しました。 【学校教育を円滑かつ効果的に展開する】 ・「教育委員会運営の見直し」を策定し、これに基づき市民等の声を直接教育委員に届ける「教育委員への手紙」の運用を開始しました。 【子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援を行う】 ・発達に支援を必要とする子どもの早期発見と早期支援を進め、継続的な療育支援を行うことで、障がいの軽減を図るとともに、保護者の障がい理解や安定した子育てにつなげました。 【私立幼稚園が適切な教育を行えるよう支援する】 ・私立幼稚園の教育環境を良好に保つため、教職員研修費及び運営費の一部を市内すべての幼稚園（17園）に補助しました。
-------------------	---

構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・文部科学省が進めている英語教育の抜本的な改革を見据え、外国語活動のさらなる充実を図る必要があります。 ・授業改善による児童生徒の学力向上を図るため、校務支援システムの効果的な運用やI C T支援員のさらなる充実が求められています。 ・建設されてから40年を超える学校が多く、老朽化の現状を把握し大規模改修を計画的に進める必要があります。また、事業の実施にあたっては、補助金を活用するなど市の財政負担の軽減を図る必要があります。 ・教育委員会運営の見直し方針は定期的に検証を行い、開かれた教育委員会運営を行います。また、教育委員会制度の変更に伴い、総合教育会議開催や総合的な施策の大綱策定に関する調整業務を行います。 ・発達に支援を必要とする子どもが増加し、機関支援のニーズも高まっていることから、引き続き、支援サービスの提供体制の充足を図り、適切な支援サービスを確保することが求められます。 ・子ども・子育て支援新制度について、私立幼稚園においても知識を持ってもらうため、新制度に関する研修の機会を増やす必要があります。
-----------------------------	---

今後の展開方針		注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保するため、文ヶ岡小学校において増築工事を実施します。	(該当する事務事業) 文ヶ岡小学校増築事業
既存事業の拡充	・小学校全校の中学年で外国語活動を拡大します。 ・子ども・子育て支援新制度に関する職員研修を行う幼稚園への補助金額を8万円から30万円に増額します。	(該当する事務事業) ・英語教育推進事業 ・私立幼稚園運営支援事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)